

令和4年度 国立大学図書館協会シンポジウム

趣 旨 説 明

2022年9月28日

学術情報基盤実態調査（旧大学図書館実態調査）

- 国公立大学を対象に、大学の教育・研究活動を支える学術情報基盤についての現状を明らかにし、その改善の基礎資料とすることを目的として毎年実施（悉皆調査）
- 「大学図書館編」大学図書館の運営体制（職員、施設）、蔵書数、経費（資料費、運営費）、機関リポジトリ、アクティブ・ラーニング・スペースなど
- 「コンピュータ及びネットワーク編」ネットワークの整備状況、教育、セキュリティ対策やクラウド運用状況など
- 政府統計の総合窓口 <https://www.e-stat.go.jp>
- 以下、令和3（2021）年度調査結果報告を利用
（令和3年（2021）年5月1日現在）

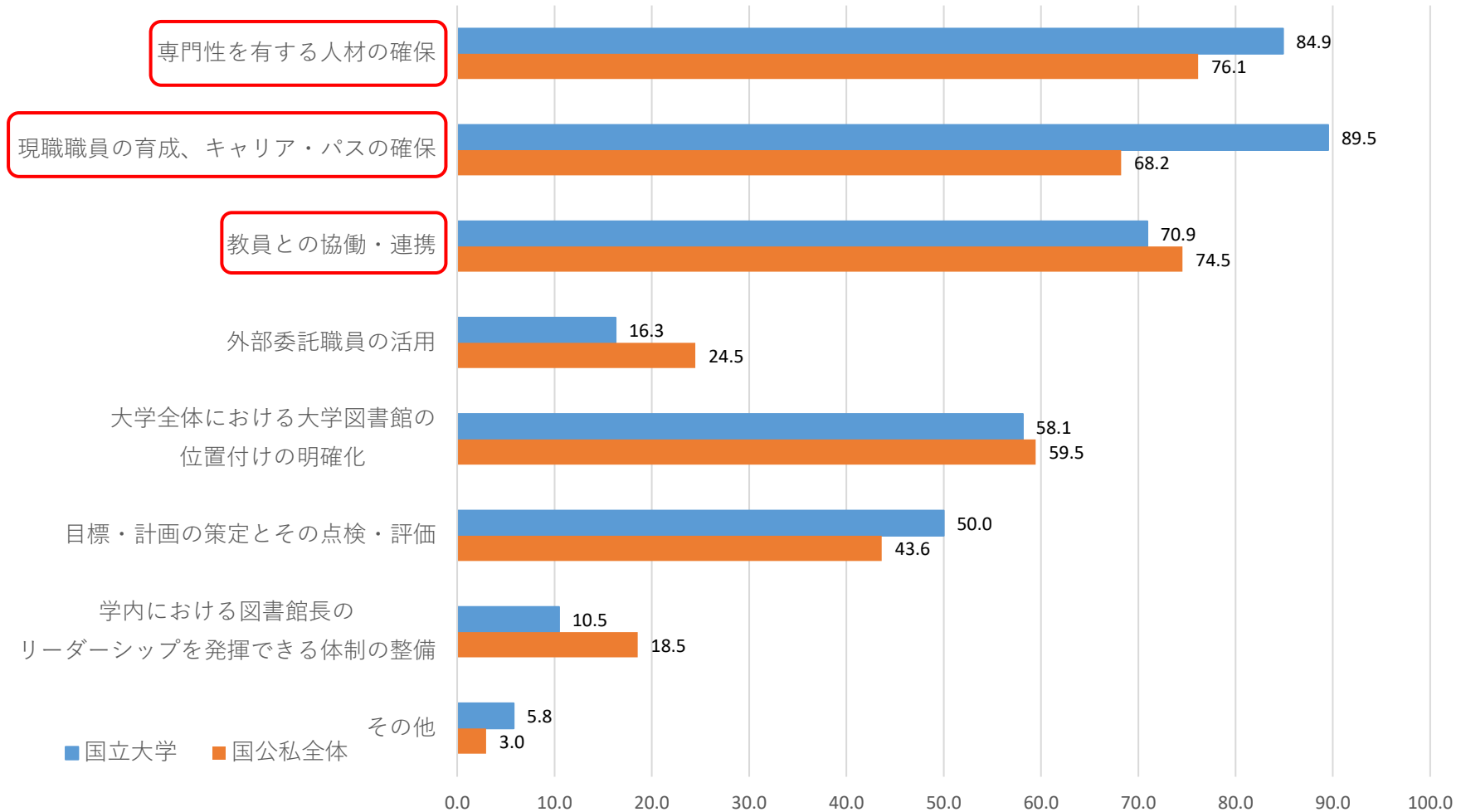
設問：「課題」

- 大学図書館の管理運営等において、解決すべき課題のうち、重要と考えているものを、以下の1～5についてそれぞれ回答してください。
(令和3年5月1日現在)

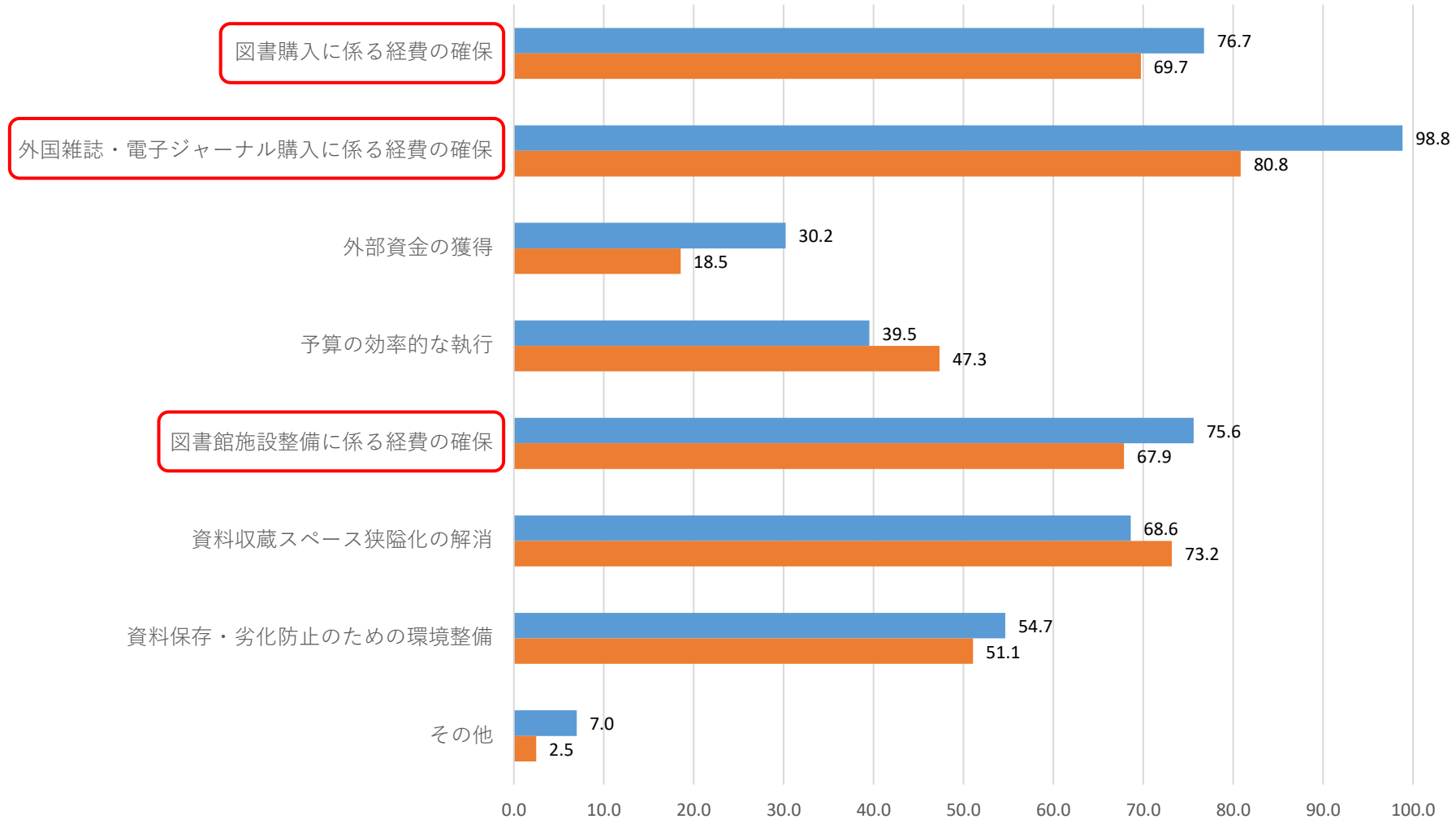
1. 組織・運営面
2. 経費・設備面
3. 機能面
4. 外国雑誌及び電子ジャーナル
5. 機関リポジトリ

※1.～3.は複数選択可

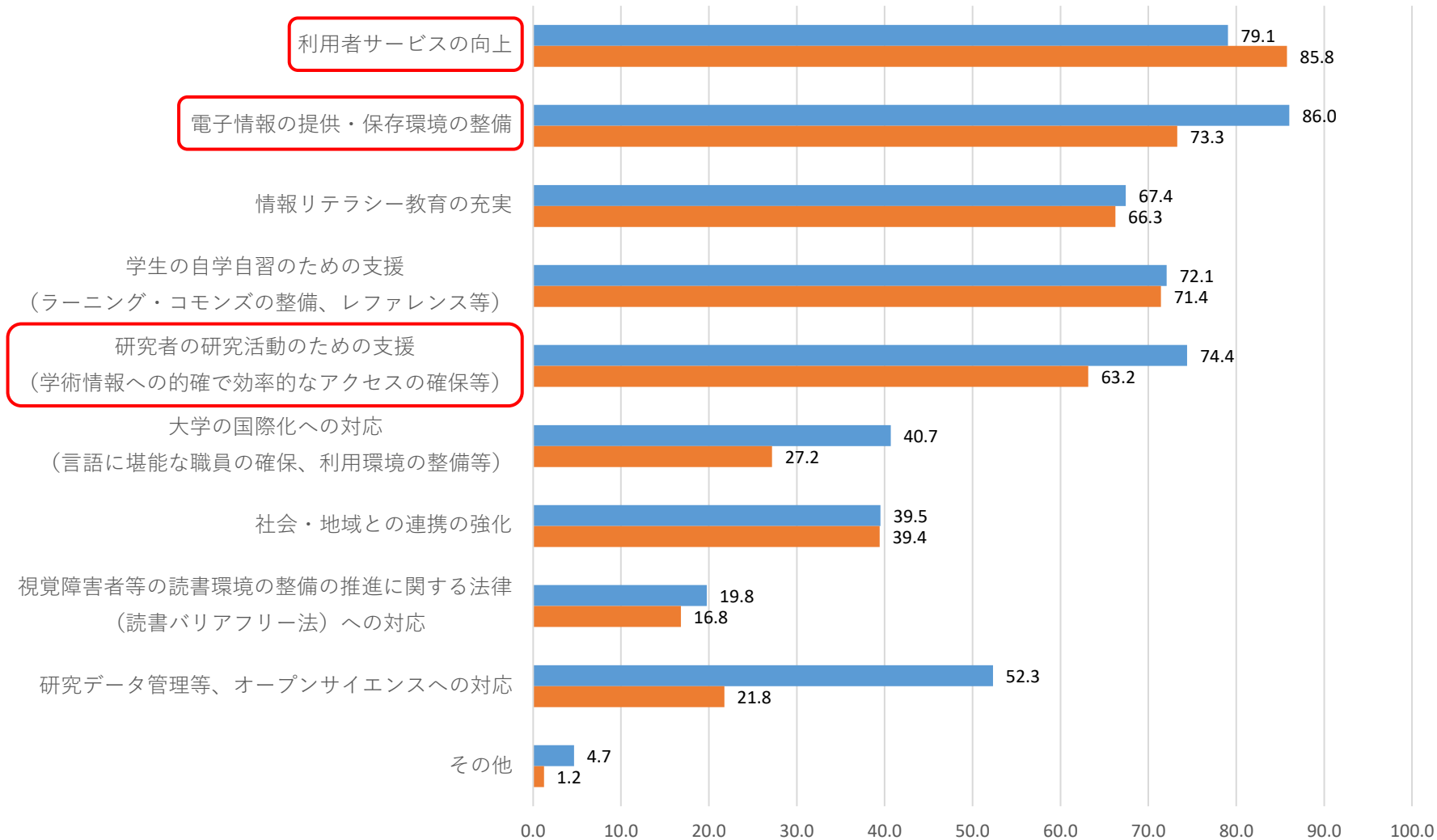
①組織・運営面の課題



②経費・設備面の課題



③機能面の課題



国立大学図書館が重要と考えている課題

●組織・運営面

- 現職職員の育成、キャリア・パスの確保 人材
- 専門性を有する人材の確保 人材
- 教員との協働・連携 人材

●経費・設備面

- 外国雑誌・電子ジャーナル購入に係る経費の確保 蔵書
- 図書購入に係る経費の確保 蔵書
- 図書館施設整備に係る経費の確保 場

●機能面

- 電子情報の提供・保存環境の整備 蔵書
- 利用者サービスの向上 場と人材
- 研究者の研究活動のための支援 人材

国立大学図書館機能の強化と革新に向けて ～国立大学図書館協会ビジョン2025～

重点領域 1． 知の共有：

蔵書を超えた＜知識や情報＞の共有
≡ ＜蔵書＞

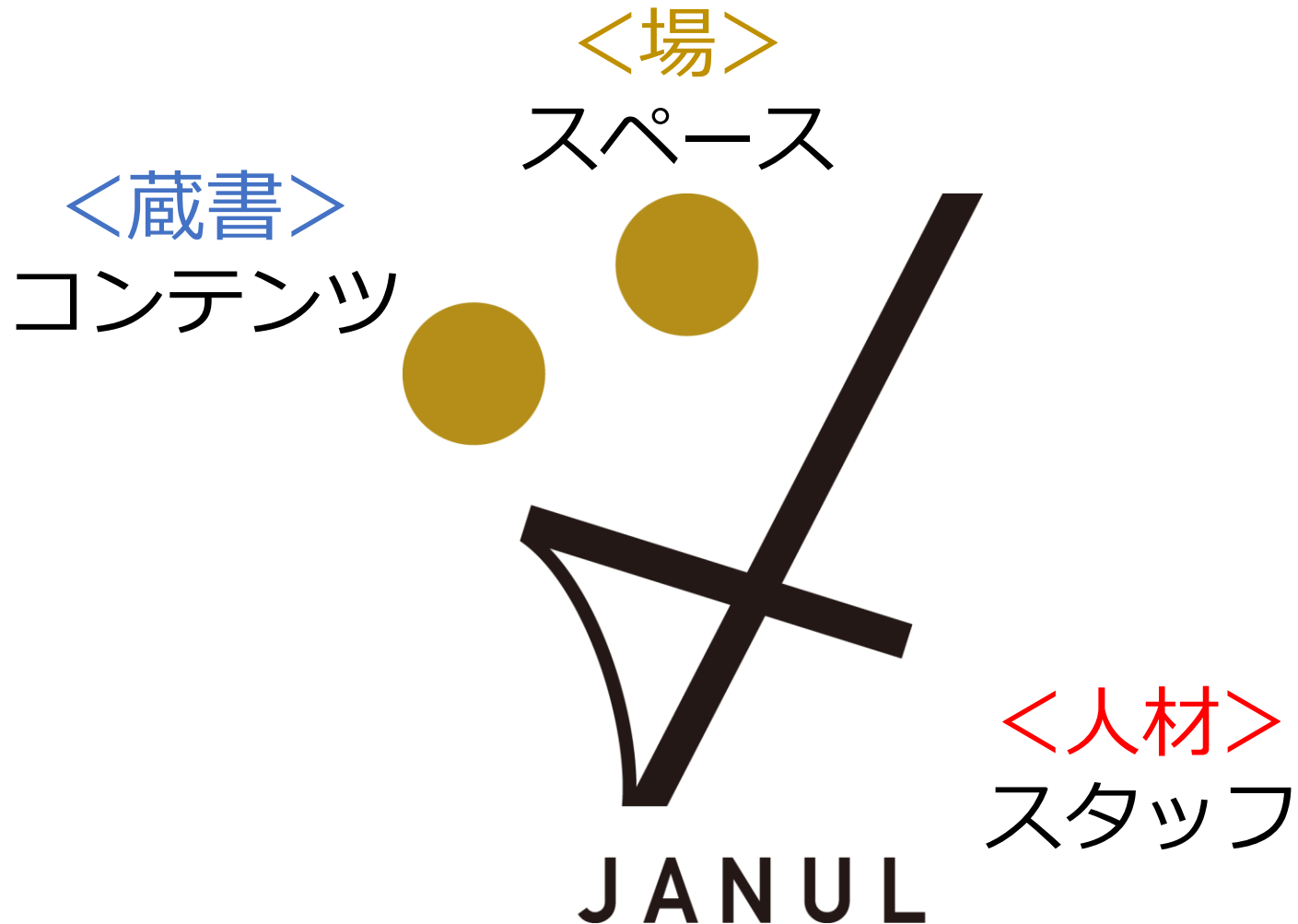
重点領域 2． 知の創出：

新たな知を紡ぐ＜場＞の提供

重点領域 3． 知の媒介：

知の交流を促す＜人材＞の構築

3つの重点領域と国大図協ロゴマーク



第69回総会 研究集会（2022年6月）

- テーマ：大学図書館の新しいあり方
- プログラム
 - 話題提供 1：教育・研究活動の変化と図書館
 - 江頭 進（小樽商科大学附属図書館長）
 - 大隅典子（東北大学附属図書館長）
 - 山田 明（東京工業大学附属図書館長）
 - 大藪千穂（岐阜大学図書館長）
 - 話題提供 2：会員館のさまざまな取り組み
 - 阿蘇品治夫（茨城大学 研究・社会連携部 学術情報課長）
 - 全体ディスカッション
 - コーディネーター：尾上孝雄（大阪大学附属図書館長）
 - まとめ

テーマ

大学図書館はどこへ向かう？

変えるべきこと、継承していくこと

変えるべきこと、継承していくこと

- 第66回国立大学図書館総会（2019.6.21）での引原副会長の閉会挨拶

これまでさまざまな問題点を指摘し、解決策について議論を繰り返してきたが、何も変わっていない

- 日本経済新聞（2019.6.22）文化欄記事「開かれた大学図書館へ」（熊野前会長）

大学図書館が変化を求められるなか「変わってはいけない部分もある」と強調するのは東大付属図書館長の熊野純彦氏

「デジタル化が進んでも紙の本は必要だし、予算的に厳しくても外部利用者への課金などは考えるべきではない」

変える勇気と守る勇気

プログラム

- 基調講演（60分）
- 各委員会報告（60分）
 - 総務委員会
 - 人材委員会
 - 資料委員会
 - システム委員会
- ディスカッションと質疑応答（60分）

基調講演



国立大学図書館協会 副会長

京都大学図書館機構長

引 原 隆 士

各委員会報告（１）

- 総務委員会

赤澤 久弥（大阪大学附属図書館箕面図書館課長）

- 人材委員会

峯岸 由美（筑波大学学術情報部
アカデミックサポート課主幹）

- 資料委員会 オープンサイエンス小委員会

杉田 茂樹（京都大学附属図書館事務部長）

下城 陽介（東京大学附属図書館
総務課企画渉外チーム主任）

直江 千寿子（名古屋大学附属図書館
情報サービス課・課長補佐）

各委員会報告（2）

- 資料委員会 電子資料小委員会
大 山 努（大阪大学附属図書館事務部長）
- システム委員会
野 中 雄 司（富山大学学術情報部
図書館利用支援課長）

ディスカッションと質疑応答

- 司会：

小 陳 左和子（東北大学附属図書館事務部長）

- パネリスト：

引 原 隆 士（京都大学図書館機構長）

坂 井 修 一（東京大学附属図書館長）

茂出木 理子（東京工業大学事務局参事

（データマネジメント担当）

（兼）研究推進部情報図書館課長）

鈴 木 雅 子（神戸大学附属図書館事務部長）

三 角 太 郎（富山大学学術情報部図書館情報課長）

司会



東北大学附属図書館
事務部長

小 陳 左和子



パネリスト

国立大学図書館協会 副会長

京都大学図書館機構長

引 原 隆 士



パネリスト

国立大学図書館協会 会長

東京大学附属図書館長

坂 井 修 一



パネリスト

東京工業大学事務局参事
(データマネジメント担当)
(兼) 研究推進部情報図書館課長

茂出木 理子

パネリスト



神戸大学附属図書館
事務部長

鈴木 雅子

パネリスト

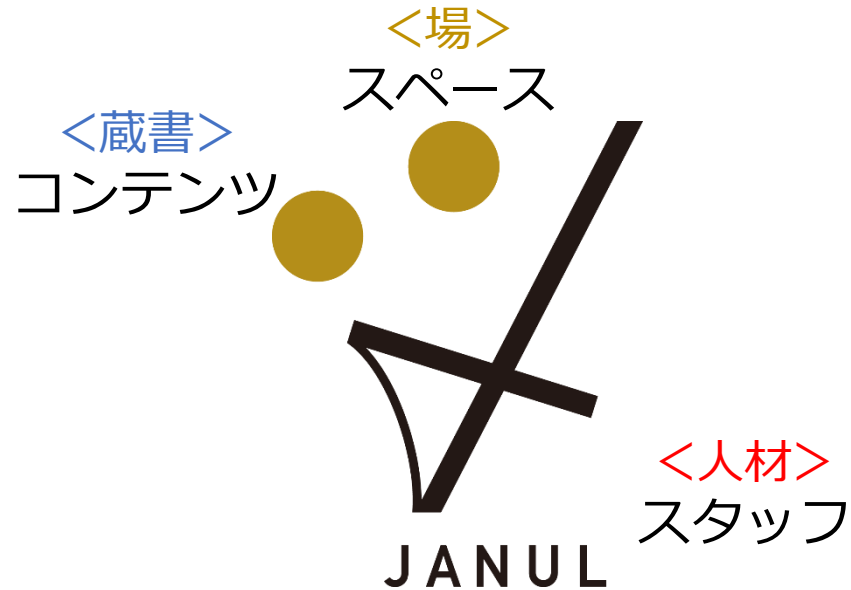
富山大学学術情報部
図書館情報課長

三 角 太 郎



大学図書館はどこへ向かう？

変えるべきこと、継承していくこと
について考えるために、



を見取り図にしながら、

変える勇気と守る勇気

を胸に、大学図書館を
変えていきましょう